

2022年4月下旬配本予定

東晋平 「蓮の暗号」 〈法華〉から眺める日本文化

本体2,600円+税 | 352頁 (カラー口絵16頁) | 四六版 | 上製本
ISBN:978-4-908122-20-0 C0070

平成最初の年に、メトロポリタン美術館で運命的に出あった一双の屏風。そこに脈打つ生命の正体を追って、これまで見落とされていた壮大な「暗号」に迫っていく。千利休、本阿弥光悦、俵屋宗達、尾形光琳、葛飾北斎、宮島達男ら巨匠の足跡をたどりながら、ニッポンの底流にある法華思想を読み解く気鋭の日本文化論。



装丁: 矢萩多聞

「侘び・寂び」でも「アニメズム」でも「武士道」でもない日本。
その流れは、あからさまな水音を立てない。
むしろ地中深くを潤し、あらゆる草木の根から茎へと巡って森を育んできた。
ありありと描かれているのに、私たちがそうとは気づかないもの。気づかせないもの。
それについて、あえて想像力を豊かに解読の妄想に耽ってみたい。(帯文章より)

目次

- メトロポリタンの燕子花 —プロローグ
- 第1章 「琳派」という系譜 —私たちが思う「和風」の誕生
- 第2章 茶の湯の成立 —室町時代のゴージャス
- 第3章 利休と法華 —茶の湯と法華の意外なつながり
- 第4章 桃山文化の原動力 —なぜ動乱の世に美が開花したか
- 第5章 光悦の実像をさがして —時代を動かしたプロデューサー
- 第6章 タゴールが見た「蓮」 —インド・ルネサンスと日本
- 第7章 目覚めた人 —思慮ある人は、奮い立ち、努めはげめ
- 第8章 敦煌莫高窟 —アジアの記憶の古層をたどって
- 第9章 道成寺伝説 —最古のエンターテインメント
- 第10章 「風神雷神図」異聞 —屏風絵のなかに隠されたもの
- 第11章 北斎「Big Wave」 —一瞬のなかにひろがる永遠
- 第12章 ガジェットの仏陀 —受け継がれる「法華芸術」、千年紀への曙光 —エピローグ

著者略歴: 東晋平(ひがし・しんぺい)
文筆家・編集者。1963年神戸生まれ。現代美術家・宮島達男の著書『芸術論』(アートダイバー)、編著書『アーティストになれる人、なれない人』(マガジンハウス)などを編集。

上記内容、書籍内容への問い合わせはアートダイバー(担当:細川)まで TEL045-281-3081 FAX045-330-5165 info@artdiver.moo.jp

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** <http://tsubamebook.com>
TEL:03-6715-6121 mail: info@tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	新刊	アートダイバー	http://artdiver.moo.jp
		返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人	
ご担当: 様	冊	東晋平 「蓮の暗号」 〈法華〉から眺める日本文化	
		本体2,600円+税 352頁 四六版 上製本 ISBN:978-4-908122-20-0 C0070	